

二戸市が地元産品PR

二戸市が地元産品PR

米国イベント成功 販路拡大へ意気込み



二戸市が米ニューヨークで主催した、特産の漆や日本酒を紹介するレセプション=2013年8月（二戸市提供）

昨年8月下旬、市が
ニューヨークの日本総
領事・大使公邸で開い
たレセプションには、
関係者約200人が来
場。漆の杯に注いだ日
本酒や和牛、南部せん
べいを振る舞い、職人
の説明に当
たった。公邸で市が
主催するイベントが

二戸市が世界遺産建
築にも使われている上
質な漆や日本酒といっ
た地元産品の魅力を伝
えようと、国内外でP
R活動に力を入れてい
る。昨夏には米ニューヨークで市主催のイベ
ントを成功させた。担
当者は「小さな町の大
きな挑戦。住民の誇り
にもつながる」と意気
込んでいた。

二戸市が世界遺産建
築にも使われている上
質な漆や日本酒といっ
た地元産品の魅力を伝
えようと、国内外でP
R活動に力を入れてい
る。昨夏には米ニューヨークで市主催のイベ
ントを成功させた。担
当者は「小さな町の大
きな挑戦。住民の誇り
にもつながる」と意気
込んでいた。

漆や酒 世界に売り込め

二戸市が国外向けイベント

（栃木県日光市、や中尊寺金色堂（平泉町）にも同市の漆が使われている。）

ただ生活様式の変化などで、国内での漆器の売り上げは頭打ち。市の担当者は「今後、海外向けのデザインを工夫することも必要を感じた。製品を丁寧に説明し、販路を広げたい」と話す。

日本酒の海外展開を十数年前から進めてきた地元の酒造会社「南部美人」も、市を後押しする。

「漆や地元食材などと一緒に日本酒を紹介すれば、魅力を一層伝えられることができる。一企業ではどうしても限界があった」と久慈浩介社長。

市は平成25年度をPR強化に向けた3カ年計画の初年度と位置付ける。26年度以降は米国などの外食産業に積極的に売り込むうと、海外の商談会への参加なども検討している。



岩手県二戸市が米ニューヨークで主催した、特産の漆や日本酒を紹介するレセプション=2013年8月（二戸市提供）